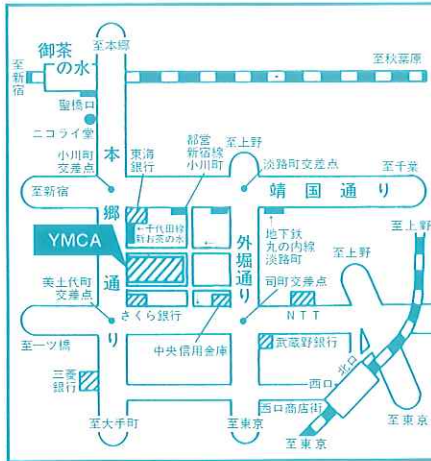


参加対象 教員、社会教育関係者、NGO関係者、一般  
 定員 100名  
 参加費 13,000円 (資料として『対立から学ぼう』代を含む)

※なお、なるべくゴミを出さないように、お願いいたします。



■東京YMCA国際奉仕センター

JR

- 神田 出口(西口、北口)
- 御茶の水駅 出口(聖橋口)

地下鉄

- 丸の内線 淡路町駅 出口(A-2・A-4)
- 千代田線 新お茶の水駅 出口(B-6)
- 都営新宿線 小川町駅 出口(A-6)
- 銀座線 神田駅 出口(北口)

加入者名: ERIC (通信欄に「グローバル・セミナー」と明記してください。)

参加費用振込先 郵便振替口座: 00180-5-710744

〒114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビルF ERIC「グローバル・セミナー」係 ☎03-3800-9416 担当: 高橋

お振り込みください。

★参加ご希望の方は、別紙の申込書にご記入のうえ、下記の住所宛にお送りください。また、参加費は指定の郵便振替口座に

後援 文部省、全国高等学校国際教育研究協議会、全国高等学校長  
 会、帝塚山学院大学院国際理解研究所

会場 東京YMCA国際奉仕センター 東京都千代田区神田美土代町7-1 ☎03-3293-7011

開催日程 1997年6月28日(土)~29日(日)

主催 国際理解教育センター (ERIC)  
 協力 東京YMCA国際奉仕センター

# 1997.6.28-29 SEMINAR

国際理解教育研修プログラム「グローバル・セミナー」開催のご案内

# GLOBAL

価値観が多様化する中で、私たちは異質なものと出会い、異質な  
ものから学び、多様性をプラスにとらえる必要に迫られています。  
異質なものの間には対立があります。対立から学ぶことができます。  
今の時代に生きる必須条件になっています。

その前提また過程で重要なのが多様性を尊重するための自己理解、  
コミュニケーションです。そのための教育はこれまでも行われて  
います。さらに踏み込んで多様性のゆえに当然起こる「対立」に  
ついて充分に考えてきたとは言えません。日常の人間関係の中でい  
らいらしたり、怒りを感じるときに、そのことと向き合いにくく  
考えないために、自己理解や相互理解の芽をつんでしまうことも多  
いのではないですか。

今回のグローバルセミナーでは対立解決の手法を学ぶことで、と  
もすれば「否定的」にとらえられてきた対立が、実は多様性、個性、  
信念のあらわれであることを理解し、そこから個人及び社会が成長  
できるかにしていけることを願って企画をたてました。

第1日目は、対立から学ぶための手法や活動を体験し、対立の解  
決の大切さを伝えるためのトレーニングを中心に行います。2日目  
に、対立解決の手法としてよく使われるロールプレイや劇的手法を  
使いこなし、あるいは対立解決の授業案・研修プログラムづくりに  
挑戦していただきたいと思っています。さらに、このような研修の手法・  
内容を参加者自身が広めていっていただけると、日本における  
国際理解教育の内容を深め、推進することに寄与できる内容である  
ことを確信し、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思っています。

# GLOBAL SEMINAR

## ●講師紹介

### ●ウイリアム・クライトラー

対立の解決メソッドとして研修・教材開発を主  
に行う。小学校の教師を経た後、教育コンサルタント  
及び対立の解決、暴力予防のためのプログラムや教材  
開発に携わってきた。著書は「Conflict Resolution in  
the Middle School」その他。著書は「Creative Conflict  
Resolution/More than 200 Activities for Keeping  
Peace in the Classroom (GradeK-6) [Elementary  
Perspectives: Teaching Concepts of Peace and Conflict] など多数。1988年よりESRCに  
参加。

### ●ESR

ESR (Educators for Social Responsibility) 「社会  
的責任を求めめる教育者の会」公正で平和な社会を目指  
し責任をもつて行動する子ども育成に携わる教育  
NGO。対立の解決トレーニング・暴力防止のための教  
育の推進に関わり、研修・教材開発などを行う。国外  
では、カナダ、イギリス、ポーランド、ロシアなど  
でもプロジェクトを手がけている。

## ●「Conflict Resolution in the Middle School—対立から学ぶ—中等教育におけるカリキュラムと教え方」

対立とは何か、対立を激化するもの、対立の種類、対  
立の介入の仕方、多様性とは何か、偏見や差別、多様  
性との対立、などの対立をとりまく事例について知り、  
考え、行動するための指針となる、理論に裏打ちされ  
たプログラムがご用意されています。

定価 6,300円(税込み) 予定  
※研修参加費の中に含まれます。

### ●阿木幸男

翻訳家、予備校講師、非暴力トレーナー。現在、杉並  
区民大学企画運営委員、「日本チェルノブイリ連帯基  
金」の理事など、多数のNGO活動に関わる。著書に「非  
暴力トレーニング」(野草社)、「非暴力」(現代書館)。  
翻訳「核文明の恐怖」(岩波書店) など。

### ●グローバルCAP

ここもたちが自分自身の権利について理解し、その権  
利を奪おうとする虐待やいじめなどのあらゆる暴力に  
心と体と知恵をもって対抗できるようにする予防教育  
プログラムを実践している団体。プログラムは、アメリ  
カで開発されたものを日本に合うようにアレンジした。  
●現代座(コミュニケーション・ラボ21)  
創立30年になる劇団。その名の通り現代的課題を扱っ  
た演劇によって、「ひびきあう劇場」をめざしている。  
地域を歩き回り、人びとのつながりを創造する。コミ  
ュニケーションを取り戻すためのコミュニケーション・  
ラボ21という表現集団を生み出している。

6月28日(土)	9:15	受け付け開始
10:00~	基調講演「対立の中での対話」	全体研修「対立解決のカリキュラム」
12:30	昼食	
13:30~	研修：「対立から学ぶ—中等教育におけるカリキュラムと教え方/Conflict Resolution in the Middle School」を使って	研修1「対立から学ぶ—」(英語で研修) William J. Kreidler
		研修2「対立から学ぶ—」(日本語で研修) ERICアジアセンター
		研修3
17:00~	非暴力トレーニング「自分を拓き、社会の問題の糸口を探り、問題解決を目指す」阿木幸男	懇親会
6月29日(日)	8:15	受け付け開始
9:00~	分科会：寸劇、ドラマ、授業案・研修プログラムの試演に挑戦!	分科会1「安心・自信・自由」などの権利意識を育てるためのロールプレイ徹底活用法 グローバルCAP
		分科会2 地球市民教育にイカす自己理解・コミュニケーションのためのドラマづくり コミュニケーション・ラボ21 中田晃
		分科会3 対立解決のための授業案・研修プログラムづくり自由自在 ERICアジア
12:00	昼食各自	
13:00~	分科会1、II、III 続き	
15:15~	各分科会成果発表	質疑応答 全体ふりかえり
17:30	終了	